

## 高校国語科新教育課程実践上の諸問題

司会者 橋本 暢夫（大 分 大 学）

提案者 田尻 寔（広島県立安芸府中高校）

加藤 宏文（大阪府立豊中高校）

菅原 敬三（広島大学附属高校）

### はじめに

昭和五七年度から高校新教育課程が実施に移され、いわゆる総合国語「国語Ⅰ」が発足した。

広島大学教育学部国語科光葉会では、すでに前年、「国語Ⅰ」のあり方を求めて」と題する研究協議を行い、模索・検討を始めていた。本年度の研究協議は、それを受けつきつつ、実践を始めてみて見出された諸問題を取りあげ、検討を深めようとしたものである。

以下、その折の提案・報告の記録を掲げる。（ただし、うち二編は、提案・報告の内容を論稿の形に書き改めていただいた。）

今回の研究協議では、あえて問題をしばらくなかったため、提案・報告の内容は多方面にわたっている。また、新教育課程実施後日も浅いため、新教育課程の全体を見通した問題提起ができないという事情もあり、そこにおのずから限界があったこともやむをえなかった。しかし、いずれも、真摯な実践をふまえて提案されており、傾聴すべき内容であったと言えよう。前号の協議会記録の続編として掲載する次第である。

（編集部）